

授業だより

No. 2

押水第一小学校

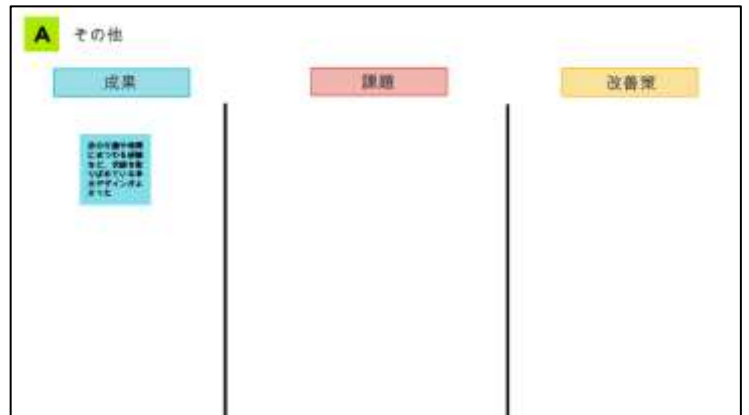
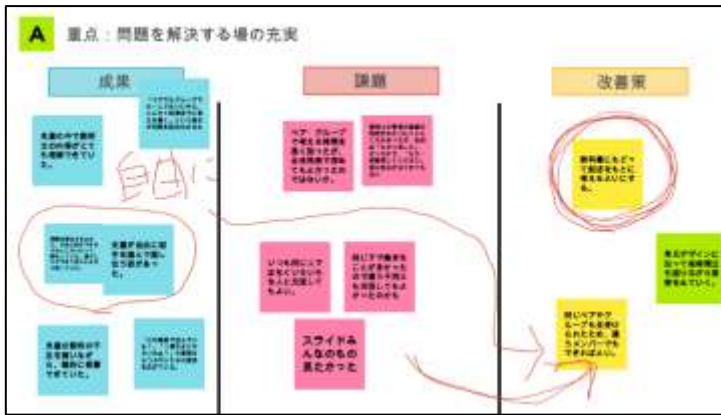
令和5年 6月 6日

6年研究授業 国語科「筆者の主張をとらえ、自分の考えを発表しよう」 『時計の時間と心の時間』(授業者 仲島)

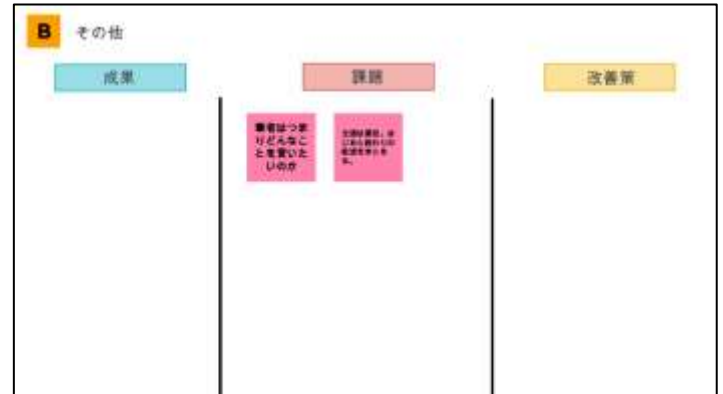
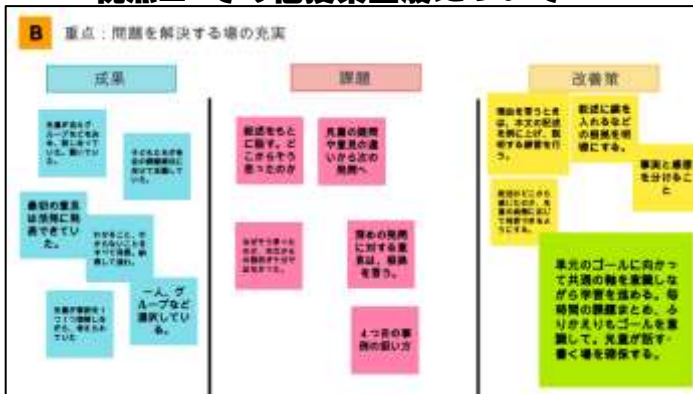
5月31日(水)に研究授業を行いました。授業後には、授業整理会、中能登教育事務所の布川指導主事からの指導助言がありました。

【授業整理会～各グループの話合いより～】

視点1: 友達と対話し、問題を解決するために、「どうしてこの順序で示したのか。」や「4つ目の事例は必要なのか。」という発問をする。



視点2: その他授業全般について



【指導助言～布川指導主事より～】

本時の展開、対話の仕方について

- ・ 深めの発問をして児童同士が自由に対話した後、考えている途中でであっても、どこまで分かっているのか一度全体場で表出させてから、もう一度児童に投げることで、より深まる対話となった。
- ・ 児童が学習形態を選択する際に、いつも同じメンバーで集まっている様子が見られた。個々の考えは見るようになるようになっていたので、「誰とつながればより考えが深まるか」という視点で学習する相手を決定できるようにしていく必要がある。

単元デザインについて

- ・ 単元のゴールに共通の軸を通して学習を進めていくことが大切である。毎時間の授業のまとめやふり返り等で、単元のゴールを意識した言語活動を取り入れていくことで、学習者と教師が変容を確かめながら進めていくことができる。